

市役所新庁舎について



永田 飛鳳
議員

私は議会や政治を若い人たちにも興味を持ってほしい、身近に感じてほしいと思っております。

そのような中、若い人の中には実際に議会を傍聴したいけれども、赤ちゃんがいるので、「今の傍聴席では泣いてしまった時のことを考えると来られない」という声や、「せっかくながら傍聴に行っても、質問している議員の顔が見えないし、他の議員の反応もわからなくて残念だった」というお話も聞いています。

開かれた議会とするため、新庁舎の建設に際しては議場のあり方についても検討する必要があります。

そこで、以下について伺います。

- ①誰でも利用しやすい傍聴席とするため、子どもと一緒に見られる親子傍聴席の設置について
- ②車椅子の方でも傍聴できる

バリアフリースペースの設置について

- 公共施設事業調整担当部長
- ①小さなお子様連れの方が気兼ねなく傍聴できる親子傍聴席は、誰でも利用しやすい傍聴席とする上で必要なものと考えており、設置する方向で検討を進めています。

- ②本庁舎整備基本計画に基づき、市民のニーズや利用のしやすさに配慮して、傍聴席に車椅子用のスペースを設けるなど、バリアフリーを踏まえた検討をしています。

このほか

- 市立医療センターについて



現在の議場傍聴席

インフラマネジメント計画、公園計画と公園行政について



栄 寛美
議員

公園施設について今後増大していくであろう維持管理コストを減らしていくと同時に、限られた予算の中で市民生活の豊かさを持続していくためのニーズを踏まえた整備、改修やリニューアルも必要と考えます。そこで以下伺います。

- ①インフラマネジメント計画公園計画の基本方針から「立地の再編と施設の再編」、「借地公園のあり方と今後の方向性」について

- ②大池親水公園の池のポンプや噴水施設、滝など水を扱う施設の修繕や、周回する園路のバリアフリー化の要望があり、リニューアルやバリアフリーが必要と考えるがどうか

○建設部長

- ①立地の再編は、利用者が極めて少ない小規模公園や借地の公園を対象に、必要性を判断した上で、地域の方々の合意形成を図りながら、地域のニーズに応じた有効活用を

行うなど、適切な再配置を図ります。また、施設の再編は、老朽化した施設を対象に、近隣の公園にも同じ施設が設置されている場合は重複を避け、別の遊具を設置することにより、バランスのとれた公園施設の再配置を図ります。

- ②リニューアルについては、地域の方々のニーズや利用状況などを把握した上で、市内のほかの公園とのバランスを図りながら、施設の再編なども考慮し、改善していきたいと考えています。

- 国民健康保険について

防災電話帳について



武 幹也
議員

防災電話帳は、災害発生時でも持ち出しが容易で、安否確認の方法や災害への備え、公衆電話の場所の情報等に加え避難所の情報等、地域の実情に合わせた防災情報が掲載された冊子で、市民の皆さまに自発的な防災意識の啓発を図る手法としては、極めて有

効なものです。

しかしながら現在、市町村が個別に協議し発行するのではなく、埼玉県と電話関係事業者で防災啓発情報等に関する協定を締結し、共通の防災情報と避難所、公衆電話等の情報を併せた「イツモ防災タウンページ」として発行することとなり、春日部市を含む東エリアは、本年11月配布を目指し作成、発行の準備を進めているとのことです。

この防災電話帳の作成、発行に伴う経費や配布先の対象者について伺います。

- 市長公室長

作成、発行に向けた協議内容の変更点は、市町村との個別協議がなくなったことです。費用面においては、電話関係事業者により広告協賛者を募り、市の費用負担はありません。さらに電話関係事業者により製本され、全住戸、全事業所を対象に無償で配布されると伺っており、広く市民の皆様が防災意識の啓発を図ることができるものと考えています。

このほか

- 消火栓や防火水槽について
- 自治会ならびに自主防災組織の現状について

**解体される公共施設で
救助訓練**



栗原 信司
議員

市役所本庁舎など解体される公共施設を使った救助訓練について、2年前に取り上げた時の答弁では「市民の生命を守る上で訓練は重要と捉えており、有効活用できる建物がある場合には、可能な限り協力していきたい」、また、旧市立病院を使った訓練については「300床以上の病床を持つていた病院であることから、土壌汚染対策法第3条に定める有害物質使用特定施設に該当するので、調査が終わるまでは使えない」との答弁でした。

その後2年が経過し、調査も済んだと聞きましたので、改めて解体される旧市立病院や市役所本庁舎など公共施設を利用した救助訓練について、市としての考えを伺います。

○消防長
旧市立病院を利用した救助訓練に関しては、関係部局から可能な限り協力をいただ

ると聞いています。今後は訓練内容を精査し、解体のスケジュールに合わせ関係部局と調整を進めていきます。

市役所本庁舎につきまして、も利用が可能と判断されることから関係部局と調整を図り、可能性を検討していきます。

このほか

○公共施設で避難訓練

○市民文化会館で避難訓練コンサート

○ポケベルの周波数帯の電波を利用した災害情報発信

○ヒートアイランド対策について・打ち水キャンペーン・ミストシャワー

豪雨災害から住民を守るために、中川の改修、水角排水機場の自動化を



大野とし子
議員

西日本豪雨の状況に、庄和地域中川周辺の皆さんは大きな不安を感じています。大雨が降れば道路冠水は当たり前、床上浸水もたびたび起こります。しかし、県管理の中川は、いまだ未改修です。県に早期の改修を求めていくべきと考えますが、市は中川の現状を

**春日部女子高等学校北側の
道路拡幅について**



滝澤 英明
議員

どのように認識しているのか。また、河川の維持管理を強く県に働きかけているのでしょうか。市長には国への要望を強めてほしいと考えますが市長の考えを伺います。

また、水角排水機場は現在、地域の方々の協力で手動で稼働していますが、この豪雨災害を考えると命の危険が危惧されます。冠水の状況と手動の運転体制を考えたら、自動化は当然のこと考えますが、市の認識を伺います。

○建設部長
浸水被害を軽減するために中川の改修は大変重要であると認識しています。なお、維持管理については、通報があれば現地を確認した上で県に修繕等を要請しています。

また、水角排水機場の自動化については、委託をお願いしている皆さまから意見を伺い判断したいと考えています。

○市長
中川の改修は本市の治水対策において大変重要であると考えています。今後も関係自治体と連携し、国や県に積極的に働きかけてまいります。

このほか
○子どもたちが安全に過ごすことができる環境整備を

春日部女子高等学校北側の道路は、粕壁小学校の通学路に指定され、路線バスの経路にもなっています。道路の拡幅は、地元住民の長年の悲願です。そこで以下伺います。

①道路拡幅の市の考え方について②女子高のエレベーター棟増築工事に合わせ、道路後退を要請することだが、最近の動向について③県の開発申請が提出され道路拡幅についてどのような協議を行っているのか④道路はどのような構造になるのか⑤道路拡幅工事の事業主体、後退部分の土地所有権は県と市のどちらになるのか⑥道路拡幅は、いつ実現するのか。

○建設部長
①通学路や路線バスの経路であり、安全性を確保する必要があります。と認識しています。

②県より提出された申請書の内容について協議を行っているところです。

③道路後退部分の整備と道路用地の帰属などについて協議を行っているところです。

④幅員6メートルの整備を行い、側溝の設置や舗装も実施します。

⑤事業主体は県で整備しているところですが、土地所有権についても帰属していただけるよう県と協議中です。

⑥増築工事に合わせて整備を実施するもので、早期実現に向けて県と調整を図っていきたいと考えています。

このほか
○市営住宅政策について



春日部女子高等学校北側道路

**銚子口橋建設を含む
橋りょう整備に関して**



古沢 耕作 議員

大落古利根川に架かる藤塚橋は、約1キロメートル上流にゆりのき橋ができたことで一時的に交通渋滞が緩和されましたが、現在は再び交通量が増して渋滞が発生しているとともに、かなり老朽化も進んでいます。そうしたことを踏まえた、今後の藤塚橋の整備について伺います。

また、地元住民の強い要望を受け、平成17年に本会議において架設に関する請願も採択されている（仮称）「銚子口橋」建設の計画が、事実上ストップしています。建設予定地のある豊野地区には近々、東埼玉道路が国道4号バイパスまで延伸してくる予定で、豊野工業団地の拡張の動きもあります。こうした周辺環境の激変を踏まえ、銚子口橋についての市の考えを伺うとともに、同事業を再び進めることを強く要望します。

○建設部長



老朽化した藤塚橋

藤塚橋については、老朽化が進行し、早期に対策が必要なことから、現在、耐震化・長寿命化について検討しています。また、銚子口橋は豊野地区のまちづくりの観点からも大変重要だと考えています。まずは藤塚橋の整備を優先したいと思います。

○市長

銚子口橋については、東埼玉道路の開通や産業団地の建設を注視しながら判断してまいります。

このほか

○自然エネルギー活用で春日部の農業を元気に

**「防災バイク隊」
の導入について**



木村 圭一 議員

災害時におけるバイクによる機動力は高く、その活躍は阪神・淡路大震災や東日本大震災でも活躍し、車では到底たどり着けない場所や、渋滞の影響や、ガソリン不足であっても少量の燃料で活躍ができる手段として注目を高めており、消防活動でも活躍してきているようで、草加市では、赤バイと称してサイレンや赤パトライトを設置し緊急走行も可能にし、活躍をしているようです。

そこで、以下伺います。

- ①本市でも同様の取り組みを行うてはどうか。
 - ②近年ではバイクボランティア団体と災害時の応援協定を結んでいる自治体もあり、応援協定を結ぶことは有効であると考えますが市の考えは。
- 消防長
- ①消防活動用バイクは現場活動で幅広い活躍が期待できますが、現場において単独での

活動となるため、運転者の技能教育などの人材育成や運用体制の確立が課題となります。そのため、現時点での導入は難しいと考えています。

○市長公室長

②バイクを活用した災害時における応援協定の締結は大変有意義と考えており、今後、協定締結に向け関係団体と協議を進めたいと考えています。

このほか

- 時間外保育について
- ICT教育の充実について
- 障がい者の就労支援について
- 認知症について

**市のイメージ
キャラクターについて**



海老原光男 議員

市としては公式キャラクターの設定はないが、「クレヨンしんちゃん」が、市をPRする上で最も重要なキャラクターであり、今後も「クレヨンしんちゃん」を積極的に活用し、全国、全世界に春日部市をPRしていくとのことですが、ぜひ、より一層の活用を

お願いします。

また、市内にはNPO法人春日部藤源郷の「とろ☆りん」をはじめ、春日部市商業協同組合、春日部市特産品協議会、庄和商工会、道の駅庄和などがイベント等で、それぞれのキャラクターを活用しています。

そこで、さらに市と各団体のキャラクターが連携することにより、市のPRにもなり、各団体、加盟企業の発展にもつながるものと思いますが、市の考えを伺います。

○総合政策部長

商工関係団体等のキャラクターについては、本市の特産品やグルメ、イベントなどのPRキャラクターとして活躍していただいております。これらのPRを通じて、春日部市のPRにもつながっているものと認識しています。

今後においても、これらのキャラクターの活用については、関係団体などとの連携を図り、可能な限り活用させていただくことで、本市のPRにつなげていきたいと考えています。

このほか

○災害に強いまちづくりの推進について

公園リニューアル 事業を進めよう！



岩谷 一弘
議員

公園は、市民の皆さん、そして地域にとっても大変身近で大切な場所です。この公園リニューアル事業は非常に注目をされていますし、子育て世代に定住していただくためにも極めて重要です。今年度は元町公園が整備予定ですが、リニューアル内容と選定基準、また、事業に対する市長の考え方について伺います。

○建設部長

公園リニューアル事業については、地域の方々との意見交換会やアンケートを実施し、地域のニーズに沿って実施しています。主な整備内容は、
①子育て世代のニーズへの対応として、老朽化した遊具を撤去し、複合遊具の設置②高齢者のニーズに対応して、健康遊具やベンチの設置③施設のバリアフリー化④災害時に炊き出しができるかまどベンチの設置、の4点です。
選定基準は、①公園面積が

900平方メートル以上の街区公園であること②開設後25年以上経過していること③地域と美化協定を締結し、公園管理に協力をいただいていること、といった要件をもとに地域性を考慮し、高い事業効果が見込まれる公園を選定しています。

○市長

この事業については、公園施設の再編や長寿命化などの事業とバランスを図りながら推進してまいります。

このほか

○自主財源確保で豊かな財政運営を目指そう！

春日部に東西自由 通路の設置を



武彦 卯月
議員

春日部駅付近連続立体交差事業は完成まで長期間を要します。それまでの間、東西自由通路を設置すべきです。
①まず、完成までの期間について、買取期間や工事期間、全体の期間をそれぞれどう見込んでいるのか伺います。
②工事の際に駅構内の跨線を

橋が邪魔になると思いますが、跨線橋を使いながら工事ができるのでしょうか。

③工事説明会で東武鉄道が「地下道を検討している」と述べています。工事のしやすさ、工事期間の短縮、安全性利便性などの点でも工事前に地下道や地下改札を設置すべきだと思いますが、市の考えを伺います。

○鉄道高架担当部長

①全体の事業期間は、埼玉県で事業認可を取得した後に事業着手から完成まで最短で12年を見込んでいます。なお、買取期間等の内訳については都市計画決定後に明らかにするものと考えています。
②具体的な工事手法や工程などについても、都市計画決定後に詳細が明らかになるものと考えています。

③工事の工程などについては、安全性や合理性、また経済性など、さまざまな影響などを踏まえ、総合的に判断していきたいと考えており、今後の詳細な検討の中で埼玉県、東武鉄道と協議、調整を行ってまいります。

このほか

○東海第二原発再稼働に反対を

庄和北部地域 学校再編について



穂 吉田
議員

埼玉県内初の義務教育学校となる江戸川小中学校の開校まで、いよいよ半年となりました。子供たちにとってもさまざまな刺激となり、学校がより一層活気づくように、併せて庄和北部地域のより一層の活性化に向けた跡地利用の環境整備を要望します。

そこで、以下伺います。

①小規模特認校制度の「対象学年」、「募集時期」について。

②宝珠花・富多両小学校の閉校後の「跡地利用」、「一部利用の有無」、「避難場所としての機能」について。

○学務指導担当部長

①小規模特認校制度は、江戸川小中学校を希望する場合に限定した制度となり、市内全域全学年の児童生徒が就学できる制度です。募集期間は11月上旬から12月上旬を予定しています。

○公共施設事業調整担当部長

②現在のところ宝珠花小学校を行政利用とし、富多小学校は民間活用とする方向性としていますが、施設の一部利用も含め、具体的な跡地活用の方角性については、地域の皆さまからのご意見を伺いながら検討していきます。

また、避難場所として引き続き利用を考慮する必要があるため、閉校後の避難場所としての機能についても、施設の一部利用とあわせて協議調整を図りたいと考えています。

このほか

○火災に強いまちづくりについて



江戸川小中学校

**複合型子育て支援施設は
抜本的に見直しを**



並木 敏恵
議員

市は、税務署跡地に保育所（定員120名）、病児保育室（定員3名）、児童発達支援センター（定員60名）の複合型子育て支援施設を計画中で、市民要望が実現すること
に大いに歓迎しています。

しかし、約3千平方メートルの敷地にこれらの機能を押し込めてしまっているのかという疑問があります。越谷市児童発達支援センターは2倍以上です。別々に建設することとは十分可能です。将来に禍根を残すことにならないように、いま一度しっかり考えていただきたいと思えます。

そこで以下伺います。

①複合型とした理由②駐車場が十分確保できるのか③園庭とプールは、0〜5歳の健常児とさまざまな障害の子合わせて180人が一斉に遊ぶのは無理。豊かな保育が保障できないのではないか④支障が生まれるような事態になれば

複合型に固執することなく見直しをすることについて。

○こども未来部長

①公共施設マネジメント基本計画の方針に従い、複合型施設として整備することとしたものです。②定員に応じて必要な台数を確保していきたいと考えています。③子どもたちの遊びに支障が生じないようなスペースを確保する方針で進めています。④既に方針は決まっていますのでこのまま進めさせていただきます。

このほか

○市立医療センターの周産期・小児医療充実を



複合型子育て支援施設建設予定地（税務署跡地）

**市内小中学校の
熱中症対策について**



石川 友和
議員

小中学校の熱中症対策にはさまざまな角度から適切に対応していただいているとは思いますが、水筒の中身に関しては、熱中症予防には水やお茶ではなくて、断然スポーツドリンクだと思えますが、スポーツドリンクが許可されている学校と、そうでない学校があることは、時期も含めてここは市で統一するべきだと私は思いますが市の考えをお聞かせください。

そのほか、運動会の実施時期について、なぜ残暑が厳しく、熱中症のリスクがまだある9月に、しかも中旬に実施するのか。また、特別教室のまだ半数近くの教室にエアコンが設置されていないことについて伺います。

○学務指導担当部長

水筒の中身や持参する時期等は各学校の実情に合わせ、校長会等において情報交換、情報提供を行い、よりよい方

向を探っていきます。

運動会等の開催時期については、毎年各学校において検討を行なっています。修学旅行や市内科学展など10月以降の行事が多いことも9月以降との関係から9月下旬の実施を校長会でも推奨しています。

○学校教育部長

特別教室へのエアコン設置については、特別教室の利用頻度や使用時期など学校の使用実態を把握した上で設置の方法も含め関係部署と協議、調整しながら検討していきたいと考えています。

**学校給食食材の地産
地消の推進について**



中川 朗
議員

春日部市における学校給食は、数々の賞を受賞するなど、全国的にも大変評価の高いものとなっております。

学校給食で埼玉県産の地場産物を活用することは、安心・安全であることのほか、新鮮さや食味のよさ、さらには食育へとつながるものであ

り、さらに地産地消を推進するものと考えます。こうした取り組みにより、学校給食のさらなる充実を図っていただきたいと考えます。

そこで、学校給食における地産地消の推進と食育の取り組みについて伺います。

○学務指導担当部長

本市では食育の観点から地域の恵まれた環境の土地で育った地場野菜を積極的に学校給食に取り入れています。

食材の紹介を聞き、地元のみを知ることは、食材を育てる方々や調理員さんに対する感謝の気持ちを醸成することに繋がります。その上で各学校では、農業体験等の実践的な食育の取り組みを行っているところでは、

学校給食において米や野菜などの地場産物を活用することや、七夕、お月見などの行事の際には、その行事にふさわしい献立を工夫することにより、伝統的な食文化についての関心と理解を深めるための食育にも取り組んでいるところでは、

このほか

○住宅リフォームについて
○シテイセールスの推進について

AEDについて



榛野 博
議員

AEDは、突然の心停止を起こした人を正しく理解し、冷静に正しく使うことができれば、その場にいる人たちが命を救うことのできる医療機器です。春日部市においてもAEDに関して、その導入及び認知活動などが必要であると考えます。

そこで以下伺います。

- ①春日部市におけるAED設置数の推移について②民間事業者に対するAED設置に係る補助について③AEDの認知活動及び利用方法などの講習、教育の活動実績について
- 健康保険部長
- ①平成27年度末は284台、平成28年度末は294台、平成29年度末は310台となっています。
 - ②AED機器の維持管理や更新時に財政的負担が生じることから、わずかな自治体のみ実施となっているところです。なお、本市では自主防災組織

育成事業助成補助金を活用し、AEDの設置を行った例があります。また、行事等必要な場合に市が保有するAEDを貸し出しする制度を制定しています。

③広報かすかべに記事を掲載するなどの周知を行っています。教育、訓練については、市職員に対する普通救命講習の実施、市民・団体を対象とした救命講習会を実施し、利用方法とともにその機能や役割を周知しています。

このほか

○図書館(室)について

○庄和保健センターについて

傍聴して一言

初めての傍聴でした。全員の意見を聞きたかったが時間がありませんでした。

性別・年齢未記入

質問に対して言葉をはつきり話してほしい。

市民のことを考えて働いてくださることに感謝しています。

公共施設で避難訓練があることを大変うれしく思います。

女性・75歳

具体的に質疑応答を聞くことができてわかりやすかったです。

女性・75歳

防災・災害ハザードマップを新しく改訂する件はとても気になっていたことだったので早目に実施してもらいたいと思います。

防災については何か災害が起きてからではなくて、市の古くなっている建物や道路、橋などは絶えず点検してもらいたい。

女性・68歳

皆さん熱心に議論されておりました。傍聴者としては室温が低く寒く、一時間が限界でした。上着を持参すれば良かったと思っています。

男性・73歳

個々の一問一答については活力に欠け、真の生きた問答があっても良かった。しかしながら、議会全体が発展的であり、春日部市がより良い暮らしを前進させてくれることを願っています。

男性・76歳

※割愛させていただいた部分もあります。

閉会中の委員会活動

▽議会運営委員会

8月17日

- ・平成30年9月定例会の運営について
- ・質疑・討論について

▽議会改革検討特別委員会

8月17日

- ・会議録のペーパーレス化について
- ・一般質問における制限時間について

▽広報広聴委員会

9月28日

- ・議会だより第53号について
- ・議会報告会について

10月5日

- ・議会だより第53号について
- ・議会報告会について
- ・視察結果報告書について

▽図書室運営委員会

10月5日

- ・平成30年度図書購入の申し込みについて

編集後記

10月28日に議会報告会を開催いたしました。お忙しい中、足をお運びいただき、貴重なご意見をくださった皆さまに、この場をお借りし、心より感謝を申し上げます。

こうした機会に市政に関心をお持ちいただき、議会の傍聴にお越しいただき、誠にありがとうございました。今回は初めて「議場」を会場とさせていただきます。

皆さまにおかれましては、向寒の折、ご自愛ください。

広報広聴委員会

- | | |
|--------|-------|
| 委員長 | 古沢 耕作 |
| 副委員長 | 坂巻 勝則 |
| 委員 | 榛野 博 |
| 委員 | 石川 友和 |
| 委員 | 今尾 安徳 |
| 委員 | 吉田 稔 |
| 委員 | 鈴木 一利 |
| 委員 | 武 幹也 |
| オブザーバー | |
| 議長 | 鬼丸 裕史 |
| 副議長 | 荒木 洋美 |

〒344-8577

埼玉県春日部市中央六丁目2番地

春日部市議会

TEL 048-736-1111(代表)

内線3116

再生紙を使用しています。